



学びのアップデート

Learning Updates



- UD(Universal Design)でUD(Update)しませんか。
- アンケートで間違いやすい設定、大丈夫ですか？
- デジタル教材の活用事例を紹介します
- 「GIGAワークブックとうきょう」を更新します
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を考える。「デジタルを活用したこれからの学び」

■ 子供たちは困っていませんか。



心の声

Aさんはよく集中してるな。
Bさんは… うーん、集中
できていないなあ。



Aさん

心の声

「ア」？「マ」？
う～ん…読みにくい。
みんなは読めているのに、
僕だけ読めないのかなあ…



Bさん

このような困りごとに対して、どのように解決したらよいでしょうか



※このページでは、一般的な
フォントを使用しています。

■UDフォント※を使ってみましょう。※ユニバーサルデザインフォント

ディスレクシアなど、文字の読み書きに何らかの困難を抱えている子供がいます。この困難さを、**フォントによって解決できる**場合があります。



この字は、チクチク目に刺さる感じがする。痛んだよなあ…

この字は、鉛筆で書く文字と違って混乱する…

私だけなのかな。こんなこと恥ずかしくて言えないよ…

一般的な明朝体

山 追 令 さ

一般的なゴシック体

山 追 令 さ

一般的な教科書体

山 追 令 さ

UDデジタル教科書体

山 追 令 さ

これなら読める♪



UDデジタル教科書体の主な特徴

- ・角が丸く、刺激が少ない
- ・「はらい」「止め」などの運筆がわかりやすい
- ・書字の際の手の動きに沿っている など

子供によって、「はらい」「はね」の鋭さに過敏だったり、「しんによろ」など書体による形の違いに混乱することがあります。今一度子供たちの様子に目を向けてみましょう。

困りごとは子供により異なります。子供の特徴に応じてフォントを使い分けることも一つの方法です。



UD(Universal Design)でUD(Update)しませんか。

■ フォントの他にも…「行間」を変更するだけで文章を読みやすく！

資料の紙面にぎっしり文字が詰め込まれたような資料は、資料を渡された時、読みにくいと感じることがあります。フォントの他にも、行間や文字間を変更するだけで、見やすい文章を作成することが可能です。行間を意識して読みやすい文章を作成しましょう。

余白狭い・行間なし・文字間隔狭い場合

き山 おなか い村
つのそとおくむたのこ
ね中のの城のかお茂れご
がに中さがし話兵はん
い、山まあ中はとぎ
ま—かがつ山、すいわつ
しごらおてとわうたね
たん、ら、いた おし
ぎすれ中うし じが
つこた山とた い小
ねしそさこち ささ
「はうまろの んい新
となでとに村 かと美
いれすい小の らき南
うた うさち きに吉



い村
むたのこ
かお茂れ
話兵

お！これなら
読みやすいぞ！



行間がない文章は、端
末等で画面を拡大しても
空白がなく読みづらい
ままです。

余白標準・行間あり・文字間隔広い場合

ごんぎつね
新美南吉

これは、わたしが小さいとき
に、村の茂兵もへいというおじいさん
からきいたお話です。
むかしは、わたしたちの村の
ちかくの、中山しやうというところに
小さなお城しろがあって、中山さま
というおとのさまがおられたそ
うです。
その中山から、すこしはなれ

※新美南吉 著「ごんぎつね」から抜粋



文字が重なって見え
るよ。読みづらいな。

※縦書きが読みづらい（または横書きが読みづらい）
などの困りごとをもつ子供もいます。この場合、
読みやすい方向に変えてあげるとよいでしょう。

余白・行間・文字間は設定から簡単に変更できる
ので、子供たちに見やすいように適切に行間
・文字間隔を空けてみましょう。



アンケートで間違いやすい設定、大丈夫ですか？

■ 設定に注意！

アンケート機能（Microsoft Forms・Googleフォーム 等）は便利ですが、設定を間違えると、回答者の名前・回答や、集計結果が丸見えになり、収集している情報によってはプライバシーを侵害するなど、想定していないことを引き起こします。十分に気を付けましょう。

回答者に集計結果を見せないために

子供の回答を他の子供に見られたくない場合は、設定（**共同作業・共同編集できる範囲**）が重要です。

気付かずに、こんな設定していませんか？
(Microsoft Formsの場合)

共同作業者の追加

Office 365 の職場または学校のアカウントを持つすべ... ▼

✓ Office 365 の職場または学校のアカウントを持つすべてのユーザーが結果を編集および表示できます

リンクを知っている tokyoeducation のユーザーは、結果を編集および表示できます

リンクを知っている tokyoeducation の特定のユーザーは、結果を編集および表示できます

共同作業者の設定は選べます！

自分以外に自分と同じ権限を与えている設定



・自分しか見られない

登録したメンバーが見られる

同じグループのメンバー全員が見られる

誰でも見られる

URLを送る前は
充分に確認を！



選挙の投票には使わない！

児童会や生徒会の選挙では、誰が誰に投票したのか分からないようにする必要があります。投票者は匿名なのに、アプリにログインする必要があるのは、違和感がありませんか。便利だからといって、選挙にはアンケート機能を使わないようにしましょう。

便利だからこそ、細心の注意を！



デジタル教材の活用事例を紹介します

■ ブラウザ上で、短時間で学習できるデジタル教材を授業で活用してみませんか。

事例① 中学校第2学年 特別の教科 道徳「情報モラルと友情・正しい判断とは」

個人情報漏えいの危険性や弊害についてインタラクティブ教材で学び、情報を発信するときに大切なことを考え、話し合う授業です。

活用した教材：「個人情報の重要性を理解しよう【C4-1】」

https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/tokyo_model/contents25/index.html



デジタル教材（インタラクティブ教材）を活用してデジタルタトゥーなどについて学びました。



教科書教材を読み、著作権侵害の画像アップロードや他者への思いやりを欠いたSNSでの発言によるトラブルケースについて考えたり、情報を発信する上で大切なことを話し合ったりしました。

授業のまとめでは、各自が情報活用のマイルールを作成しました。



公開しているデジタル教材に加えて、新たに30コンテンツを追加する予定です！

情報教育ポータル「とうきょうの情報教育」にアクセスして、教材を活用しましょう！

<https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/digitalmaterials.html>



事例② 高等学校第3学年 日本史「現代の諸課題」

私たちの生活の変化について学ぶ動画教材を視聴して、これからの社会について考える授業です。

活用した教材：「GIGAスクール構想、脱ハンコ、次は…【C5-1】」

https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/tokyo_model/contents01/index.html



授業内の演習時間において、個人のタイミングでデジタル教材（動画教材）を視聴し、感じたことや考えたことを個人でノートにまとめました。



各自が考察したことをグループ内で共有し、Teams の Class Notebook で意見の集約・発表をしました。



「GIGAワークブックとうきょう」を更新します

■活用型情報モラル教材「GIGAワークブックとうきょう」を活用してみませんか。

中・高生向けの「アドバンスド」も電子化しました

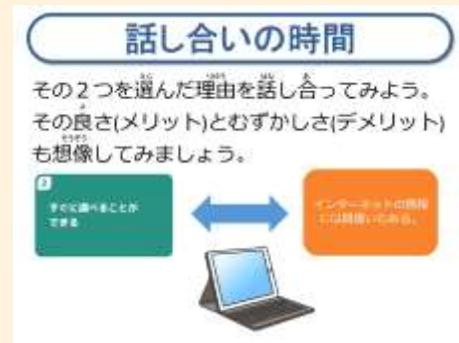
令和5年4月に公開した「ビギナー」「スタンダード」の電子版に続き、アドバンスドも電子化しました



追加教材「スマートフォンとの付き合い方について考えよう（長時間利用について考える教材）」「新しい情報技術との付き合い方について考えよう（生成AI教材）」にも対応しています。

授業などで使える動画教材を作成しました

ビギナー・スタンダードの電子版に対応した動画教材を作成しました



「活用事例別の教材」「テーマ別の教材」ごとに、**電子版に合わせた動画教材**です。活動場面などで、必要に応じて一時停止を行うことで、**授業や講演会などで活用**することができます。



「GIGAワークブックとうきょう」

ビギナー版 (小学校1・2・3年生対象)
スタンダード版 (小学校4・5・6年生対象)
アドバンスド版 (中学生・高校生対象)

情報活用と情報モラルを**セット**で学ぶことができます。

一人1台の**学習者用端末からアクセス**して学習に取り組むことができます。

【PDF版には以下の教材を追加】※電子版は、今後、公開します。

- ビギナー・スタンダード・アドバンスドに「活用スキル」に関する教材を8つずつ追加
- アドバンスドに「防災情報に関する教材」「金融情報リテラシーに関する教材」「性被害等防止教材」を追加

活用例

- 教科等の授業の中で、本教材を10分から15分間学習
- 朝学習で使用

0分 15分間 1単位時間



「GIGAワークブックとうきょう」は

令和6年3月更新予定

情報教育ポータル「とうきょうの情報教育」に掲載しています

<https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/snsnote.html>





生涯にわたって能動的に学び続け、未知の山を登る力を育成する授業への転換

先日、東京都教職員研修センターで、東京都教育委員会教育委員の高橋 純先生（東京学芸大学教授）より特別講演をいただきました。

講演をとおして考えさせられたことがありました。それは、「**授業を行っている中で、誰の頭が一番フル回転していたか**」ということです。教師が課題を与え、きれいに板書し、挙手した子供を指名しながら解説を加え、答えをまとめていくといった従来の一斉一律の授業スタイルの中では、最も頭をフル回転させていたのは教師だったのではないのでしょうか。

授業の主役は、一人ひとりの子供です。頭をフル回転させるべき子供が置き去りにされていたとすれば、やはり指導観や授業観、ICT活用観を転換する必要があります。

社会が目まぐるしく変化し、学校教育自体の在り方も問われる中、これから求められる資質・能力を育成するための授業が、今まさに求められている状況です。教師ではなく、全ての子供たち一人ひとりが頭をフル回転させる授業を目指し、改善に一步踏み出してみませんか？

「デジタルを活用したこれからの学び研究校」を指定します。

都では、令和6年度に「デジタルを活用したこれからの学び研究校」を10校指定し、授業研究を進めます。

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した授業デザインを研究していきます。

研究成果は、カンファレンスやSNS等をとおして、情報発信する予定です。ぜひ御注目ください。

デジタルリーフレット 「デジタルを活用したこれからの学びの提案」 HPで公開しました！

令和5年4月3日付で各区市町村教育委員会や都立学校に発出したデジタルリーフレットは、こちらからダウンロードすることができます。

とうきょうの情報教育HP

<https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/>



個別最適な学び・協働的な学びの一体的な充実に向け、一人1台端末時代の新たな学びの姿を示しています。校内でぜひ御活用ください。



担当は、東京都教育庁総務部教育政策課です。

「とうきょうの情報教育note」はじめました。「デジタルを活用したこれからの学び」に関する情報を発信していきます。

https://note.com/t_info_education

New!



学習指導要領に示されている資質・能力を育むには、指導方法、学習方法、学習環境等を更新し、最新のものにする必要があります。

また、Society5.0に向けて、ICT機器及び環境というハード面と、それらをどう利用していくか、授業そのものをどのように構成するかというソフト面の両方のアップデートが求められています。

そこで、これからの「学び」を最新のものに「アップデート」していただくことを願い、本通信のタイトルを『学びのアップデート』としました。東京都教育委員会のホームページにも後日掲載する予定です。

学びのアップデート

Society5.0に向けた一人1台端末の活用のための実践事例通信
第21号 令和6年3月25日発行 東京都教育庁総務部教育政策課